

2021年度 個人研究実績・成果報告書

2022年 3月 25日

所属	国際教養学部	職名	助教	氏名	中村優介
研究課題	フランスの再興へ向けたイギリス外交、1940～1945年				
研究キーワード	イギリス、フランス、国際政治、外交、ヨーロッパ	当年度計画に対する達成度	1.目標を超える研究の進展・成果を達成した		
関連するSDGs項目	10.人や国の不平等をなくそう	16.平和と公正をすべての人に	該当なし	該当なし	

1. 研究成果の概要

今年度の最大の目標は慶應義塾大学に博士論文を提出することであった。その目標の通り、博士論文「フランスの再興へ向けたイギリス外務省の構想、1940～1943年」を提出し、博士（法学）の学位を取得した。また、今年度は日本国際政治学会の研究大会で報告を行っただけでなく、一般財団法人世界政経調査会国際情勢研究所が発効する紀要である『国際情勢』でも論文を発表した。

2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）

【論文（査読あり）】

中村優介「フランスの再興へ向けたイギリス外務省の構想、1940～1943年」（2022年2月、慶應義塾大学博士論文）

【著書・論文（査読なし）】

中村優介「フランス問題をめぐるイギリス外交、1943～1944年」『国際情勢』第92号、2022年3月、65～72頁。

【学会発表等】

中村優介「ウィンストン・チャーチルにおけるフランス再興の構想、1940～1945年——英米関係と英仏関係の狭間で」日本国際政治学会 2021年度研究大会分科会 D-1 欧州国際政治史・欧州研究分科会「イギリスの戦後ヨーロッパ秩序構想」、2021年10月31日

3. 主な経費

研究の遂行に必要なノートパソコン、プリンター複合機、文房具、名刺、学会会費、図書、論文の抜き刷りの印刷などに用いた。

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

特になし。